

平成 21・22 年度 土木学会複合構造委員会 第 3 回幹事会議事録（案）

1. 日 時：平成 21 年 9 月 3 日（木）16:00～18:00
2. 場 所：鹿島建設 九州支店 プレテンルーム
3. 出席者：横田委員長，杉浦副委員長，古市幹事長，池田幹事，大垣幹事，大山幹事，斉藤幹事，島幹事，田中幹事，西崎幹事，本間幹事，溝江幹事，山口幹事，渡辺幹事
（欠席者：武知幹事，山口幹事，岡田事務局）

4. 配布資料

- 資料 幹3-1 第2回複合構造委員会幹事会議事録（案）
- 資料 幹3-2 第8回複合・合成構造シンポジウム
- 資料 幹3-3-1 複合構造標準示方書委員会
- 資料 幹3-3-2 維持管理小委員会報告書の出版企画書
- 資料 幹3-3-3 FRP複合橋梁小委員会&FRP歩道橋設計ガイドライン小委員会
- 資料 幹3-4 出版関連報告
- 資料 幹3-5 日米ワークショップ
- 資料 幹3-6-1 論文集再編のメール
- 資料 幹3-6-2 論文集再編キーワード
- 資料 幹3-7 複合構造委員会年間予定表

5. 議事内容

(1) 委員長挨拶

幹事会開催にあたり，横田委員長より挨拶があった。

(2) 第 2 回幹事会議事録案の確認（資料 幹 3-1）

溝江幹事より前回幹事会議事録案が読み上げられ，以下の 2 箇所の語句修正を行うことで承認された。

- ・5.(2) “一部の語句修正を行うことで” →削除
- ・5.(7) FRP 複合橋梁小委員会

“FRP 歩道橋設計ガイドラインの最終案” → “FRP 歩道橋設計ガイドラインの原案の最終案”
（下線部を追加）

また，古市幹事長より，前回メール審議事項となっていた以下の 2 点について，メール審議の結果了承されたことが報告された。

- ・5.(7) 複合構造標準示方書小委員会 緒方委員から寺田委員への交代
- ・5.(7) 複合構造の理論と設計改訂小委員会

大山幹事の small 委員会幹事長就任，山口幹事と葛西先生（名古屋大学）の small 委員会委員就任

(3) 第 8 回複合・合成構造シンポジウムについて（資料 幹 3-2）

古市幹事長より，第 8 回複合・合成構造シンポジウムに関して，以下の報告があった。

- ・会告案については，建築学会との内容調整に時間を要し，土木学会誌への掲載が不可となったため，土木学会メールニュースにて案内する（複合構造委員会 HP へのリンク）ことになった。また，複合構造委員会委員にも案内をメールで送る。
- ・特別講演については，上田氏（前田建設）に依頼して，了承された。講演のタイトルは，「ストー

ンカッター橋の施工」として“設計”をとる。

また、年次学術講演会の「複合構造物」のセッションの休憩時間に、本シンポジウムの開催案内と、複合構造標準示方書の講習会の案内を PPT で映してはどうかとの提案があり、大山幹事（翌日朝一のセッションの座長）が準備することになった。

(4) 各小委員会報告審議事項

各小委員会の活動状況や審議事項について、以下の通り、各担当から報告があり、協議が行われた。

複合構造標準示方書小委員会（資料 幹 3-3-1）

田中幹事より、印刷、講習会会告、講習会プログラムについて説明があり、以下のような協議が行われた。

- ・ 示方書の価格は、500 部の印刷費から計算すると 3000 円程度となるが、コンクリート標準示方書〔設計編〕(8400 円)、鋼・合成構造標準示方書〔総則編、構造計画編、設計編〕(3150 円)等とのバランスを考える必要がある。示方書としての“格”を考える必要がある。田中幹事より、土木学会担当者に、価格は他示方書との価格差も考えて設定するように依頼することになった。
- ・ 講習会の講師については、奥井先生（埼玉大学）、岩波氏（港湾空港研）、小林氏（住金スチール）については確認中であり、それ以外の講師については了承されている。また、閉会挨拶は横田委員長にお願いし、予定を調整して頂くことになった。
- ・ HP 掲載の会告の開催時間を、9:30～17:10 → 10:00～17:00 に修正する。
- ・ 講習会の質問は、後日 E-mail にて受け付けて、HP 上で回答を掲載する。E-mail の宛先は、岡田事務局員とすることとなった。
- ・ 出版企画書では編集委員会経費を 0 とすることになっているが、武知幹事に、編集委員会経費を計上できないか確認することになった。また、武知幹事に、出版委員会において価格を設定する際の加算する経費の項目を確認して頂くことになった。
- ・ 表紙については、田中幹事より、他示方書を参考に印刷会社をお願いすることになった。
- ・ 大阪での講習会は、来年度開催とすることとなった。また、地方開催（九州、北海道での開催）について、本部開催とするか支部開催とするかも含めて、検討することとなった。
- ・ まえがきを横田委員長にお願いする。田中幹事で案を作成し、横田委員長に確認して頂くことになった。
- ・ 出版物に載せる委員の名簿は、委員会への出席の有無に関わらず、委員会委員全員（委嘱状を送っている人）とする。

維持管理小委員会および新設小委員会（資料 幹 3-3-2）

溝江幹事より、小委員会報告書の出版企画書や新設小委員会の今後の予定について説明があり、以下のような協議が行われた。

- ・ 小委員会の成果物の出版は平成 22 年度に、講習会は平成 22 年 5 月頃に開催する予定である。
- ・ 発行部数について、「250 部は少ない。講習会での部数、今までの出版物の発行実績、贈呈分を考えると 350 部程度が妥当では」との意見があり、溝江幹事が武知幹事に相談することとなった。
- ・ 小委員会は予定通り今年度で終了とするため、講習会の講師で委嘱状が必要な委員には、講習会の講師としての委嘱状を出すこととなった。
- ・ 2 つの新設の小委員会（維持管理、防水工）は、1 月親委員会で審議できるように準備を進め、12 月の幹事会までに設立趣意書を作成して審議することとなった。

FRP 複合橋梁小委員会および（新設）FRP 歩道橋設計ガイドライン小委員会（資料 幹 3-3-3）

西崎幹事より、「第 3 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム」の報告や小委員会の今後の活動予定などについて説明があり、以下のような協議が行われた。

- ・「第 3 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム」（7 月 23 日開催）は約 90 名の参加者があり、収支は黒字となる見込みである。
- ・FRP シンポジウムは、今後、複合構造シンポジウムの開催年度とずらし、第 4 回を 3 年後（2012 年度）に実施し、以降は 2 年毎に定期開催することが提案され、了承された。
- ・今後の FRP シンポジウムの運営は、「複合構造シンポジウム小委員会」が「シンポジウム小委員会」に名称変更して担当することとなった。これに伴い“運営細則”を変更することとなった。
- ・FRP 複合橋梁小委員会の最終小委員会で発生するレンタカー代を、このシンポジウムの黒字分から捻出する可能性を検討することとなった。
- ・FRP 歩道橋設計ガイドライン小委員会は、第 1 回を 10 月 6 日に開催、9 月上旬には原案を小委員会委員に配布する予定である。
- ・FRP 歩道橋設計ガイドライン小委員会の下に、検討部会を設立し、FRP 複合橋梁小委員会の設計法 WG のメンバーが担当することが提案された。古市幹事長より複合構造委員会委員にメールで審議することとなった。

複合構造づれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会

渡辺幹事より、現状と今後の予定について、以下のような説明があった。

- ・委員の公募の結果、12 名から申し込みがあった。声掛けをしてもう少し委員を増やす予定である。委員が確定したら、渡辺幹事から委嘱状を送る手配をする。
- ・10 月から具体的に活動を開始する予定である。

樹脂材料による複合技術研究小委員会

大垣幹事より、現状と今後の予定について、以下のような説明があった。

- ・委員の公募の結果、12 名から申し込みがあった。化学の専門家からも数名申し込みがあった。申し込みされた化学の専門家は、土木学会への入会を予定している。
- ・10 月から具体的な活動を開始する予定である。

複合構造の理論と設計改訂小委員会

大山幹事より、現状と今後の予定について、以下のような説明があった。

- ・若手の先生 3 名（大山幹事、山口幹事、葛西先生（名古屋大学））の委員で、今後、目次構成の中で書けるところと書けないところを整理する予定である。
- ・コンクリート系の若手の先生がいないので、島幹事の方で検討する。
- ・活動期間は 2 年間であるが、最初の 1 年間で原案を作成し、H22.12 に脱稿し、H23.3 までに出版する予定である。
- ・H22 年度の出版企画書を 9/25 までに提出する。大山幹事が担当する。
- ・印税については今後検討する。

(5) 平成 21 年度年次学術講演会

古市幹事長より、研究討論会に 100 名以上の参加者があったことの報告と、翌日の共通セッションへの積極的な参加依頼があった。

(6) 出版関連（資料 幹 3-4）

古市幹事長より、武知幹事の代理として、平成 21 年度の出版計画と平成 22 年度の出版企画書につ

いて説明があり、その後、複合構造レポート 04「FRP を用いた鋼部材の補修・補強の設計・施工(仮称)」について以下の協議が行われた。

- ・原稿の確認は、10 月または 11 月頃に、本間幹事、大垣幹事、渡辺幹事が行うこととなった。
- ・価格の設定については、古市幹事長が武知幹事に相談することとなった。

(7) 日米ワークショップ（資料 幹 3-5）

横田委員長より、日米ワークショップのプログラムについて説明があり、参加の依頼があった。

(8) 論文集の再編について（資料 幹 3-6-1 および幹 3-6-2）

横田委員長と大垣幹事より、論文集の再編についての現状について報告があった。

(9) 土木構造物標準示方書について

横田委員長と本間幹事より、構造工学委員会から土木構造物標準示方書の意見照会の依頼があり、回答したことが報告された。現在、構造工学委員会内で 2 回目の意見照会を実施しており、原稿確認を希望する人は横田委員長へ連絡することとなった。

(10) 講習会の CPD 申請について

古市幹事長より、今後講習会を開催する際には忘れずに CPD 申請をすることの連絡があった。

(11) 年間スケジュール（資料 幹 3-7）

- ・横田委員長より、今年度の日韓台ジョイントセミナーの開催は無くなったことが報告された。
- ・大垣幹事より、JSSC 主催の日韓中ジョイントセミナー（10 月開催）において、複合構造の概要を紹介する予定であり、その中で現状調査小委員会のアンケート結果等の内容を引用したいとの依頼があり、了承された。
- ・第 5 回幹事会については、以下の通り開催することとなった。

平成 22 年 3 月 7 日（日）～8 日（月） 場所：宮崎（高千穂）

（第 4 回幹事会は、平成 21 年 12 月 18 日（金）14 時～17 時 場所：土木学会 にて開催）

(12) その他

最後に、横田委員長より、幹事会開催において会議室の手配および提供して頂いた古市幹事長への感謝の挨拶があった。

以上（記録・文責 池田 学）